

「八戸の魅力」



八学短大生がご当地スタンプ開発

八戸学院短大の学生7人が、無料通信アプリLINE(ライン)用の「八戸ご当地スタンプ」を開発し、5月からアプリ上で販売している。サメとウミネコのペアなど3種類のキャラクターで各40個のスタンプを作成。学生たちは「LINEを通して八戸の魅力をPRできれば」としている。(金澤一能)

学生が開発した八戸ご当地LINEスタンプの集合画像

開発したのは幼児保育学科の2年生で、八戸市の学生まちづくり助成金事業を活用し、前年度のゼミの授業で取り組んだ。

キャラクターは市内の観光地を視察し考案。JR鮫駅や蕪島から連想した「八戸のサメさん、うみねこさん」、地元に住む架空の少女「八戸のミスキ」、八戸へ移り住んできた男性「池田」の3種類をデザインした。

LINEのスタンプショップのうち、アマチュア主体の「クリエイターズマーケット」で、1セット(40

個)当たり1200円で販売。ショップ画面で「池田ゼミナール」と検索すると見つげられる。

デザインを担当した飯山瑞綺さん(19)は「どんな言葉を使うか考えるのに苦労した。八戸の魅力が県内外に広まればうれしい」と話す。

ゼミを指導した池田拓馬講師(33)は「既存の魅力だけでなく、学生によるスタンプ開発で新しい地域の魅力も提案していければ」とした。ゼミでは今後の授業でもご当地スタンプ作りを続ける予定だ。